

〔畜産関係〕

1. 日本短角種一貫生産体系整備モデル事業に おける肥育成績について

(畜試肉牛部)

試行期間の中間成績では、ほぼ目標に近い成績であったが、出荷月齢の平均は18.4カ月であったため肉の熟成が十分でなく事業の規格である並の上の割合は42%であった。今後この時期の出荷は早生れ等で対応し20カ月程度の出荷が望まれる。

(1) 背景とねらい

県では安くておいしい牛肉の周年供給をめざして、日本短角種一貫生産体系整備モデル事業を57年8月からスタートさせた。そこで試行期間(8~10月)における成績について肥育技術の分野から分析したので参考に供する。

(2) 技術の内容

出荷時体重の平均は562Kgであり目標(550~570Kg)の範囲内であった。枝肉歩留もほぼ、目標(58%)に近かったが、出荷月齢の平均は18.4カ月であったため、肉の熟成が十分でなく事業の規格物である並の上の割合は42%であった。今後この時期の出荷は早生れ等で対応し、20カ月程度の出荷が望ましい。正肉歩留は目標(74%)を1.6%上廻り、精肉歩留は目標(85%)を0.8%下廻ったが、生体からの精肉歩留はほぼ目標(36.5%)どおりであった。

1) 肥育素牛

導入時体重の平均は265Kg(日齢体重1.16Kg)であり、早期出荷には導入時体重の大きい牛が使われた。

2) 肥育日数

肥育日数の平均は322日であり、いずれも1年以内の肥育日数であった。

3) 出荷時体重 目標 550~570 Kg

出荷時体重(畜産流通センター着体重)の平均は567Kg(DG0.92Kg)であり、目標体重の範囲内であった。農協間では岩泉が低かった。これは導入時体重の差もあるが管理(岩泉は繋飼育が多い)、粗飼料の質(九酪はとうもろこし、サイレージを給与する農家が多い)等も影響しているものと思われる。

4) 枝肉歩留 目標 58%

枝肉歩留(水引重量/センター着体重)は57.6%であり、目標の58%を越えたのは九酪52%、安代47%、岩泉33%であった。

5) 皮下脂肪 目標 背脂肪2cm以下

背脂肪の平均は1.8cmであり目標に達した。枝肉の脂肪厚は出荷時体重、枝肉重量との相関は高く、皮下脂肪と正肉歩留との相関は背脂肪より、バラ部の脂肪厚と負の相関が高かった。

(6) 試験成績の概要

肥育成績

		n	導入時体重 (Kg)	肥育日数 (日)	出荷時月齢 (月)	出荷始体重 (Kg)	増体 量 (Kg)
九 酪	8 月	13	281 ± 34	292 ± 11	17.2 ± 1.0	577 ± 39	296 ± 38
	9 月	10	288 ± 71	324 ± 16.4	18.6 ± 1.4	590 ± 31	302 ± 59
	10 月	10	269 ± 46	354 ± 10.4	19.9 ± 1.0	580 ± 17	311 ± 44
	平均	33	279 ± 50	320 ± 29	18.5 ± 1.6	582 ± 31	303 ± 46
安 代	8 月	10 (1)	(310)	(278)	(16.5)	569 ± 37 (568)	(258)
	9 月	10	272 ± 24	324 ± 8	18.3 ± 0.5	576 ± 32	303 ± 38
	10 月	10	244 ± 8	352 ± 9	18.9 ± 0.4	571 ± 37	327 ± 36
	平均	(21)	(261 ± 25)	(335 ± 21)	(18.5 ± 0.7)	572 ± 34 (573 ± 33)	(312 ± 31)
岩 泉	8 月	7 (5)	(274 ± 15)	(277 ± 8)	(17.0 ± 0.2)	545 ± 10 (546 ± 11)	(272 ± 20)
	9 月	10	251 ± 27	309 ± 9	18.2 ± 0.7	572 ± 18	271 ± 36
	10 月	10	233 ± 22	337 ± 8	18.7 ± 0.6	520 ± 16	288 ± 30
	平均	27 (25)	(248 ± 27)	(314 ± 24)	(18.1 ± 0.9)	527 ± 19 (526 ± 19)	(278 ± 31)
全 体	8 月	30 (19)	(281 ± 30)	(287 ± 12)	(17.1 ± 0.9)	567 ± 35 (569 ± 35)	(288 ± 35)
	9 月	30	270 ± 47	319 ± 13	18.4 ± 1.0	563 ± 40	292 ± 46
	10 月	30	249 ± 33	348 ± 12	19.2 ± 0.9	557 ± 36	309 ± 39
	平均	90 (79)	(265 ± 40)	(322 ± 26)	(18.4 ± 1.2)	562 ± 37 (562 ± 37)	(297 ± 42)

DG (kg)	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留 (%)	素牛導入価格 (円)	枝肉単価 (円)	販売金額 (円)	規格物	
						頭数 (頭)	割合 (%)
1.014	329 ± 17	57.0	217,000	1,323 ± 75	450,000	6	46
0.933	343 ± 22	58.1	210,000	1,355 ± 73	472,000	7	70
0.878	341 ± 13	58.8	210,000	1,340 ± 78	471,000	6	60
0.944	337 ± 18	57.9	213,000	1,338 ± 74	463,000	19	58
(0.928)	331 ± 26	58.1	(233,000)	1,280 ± 63	437,000	2	20
0.936	327 ± 24	56.8	204,000	1,295 ± 73	437,000	3	30
0.928	332 ± 19	58.1	183,000	1,340 ± 57	458,000	4	40
(0.932)	330 ± 23	57.7	(195,000)	1,305 ± 67	444,000	9	30
(0.983)	300 ± 5	55.0	(206,000)	1,336 ± 80	412,000	4	57
0.876	301 ± 11	57.6	185,000	1,310 ± 78	406,000	4	40
0.852	302 ± 9	58.1	169,000	1,300 ± 58	405,000	2	20
(0.884)	301 ± 9	57.1	(183,000)	1,313 ± 70	407,000	10	37
1.002	323 ± 22	56.9	(215,000)	1,312 ± 74	437,000	12	40
0.915	323 ± 26	57.5	200,000	1,320 ± 76	438,000	14	47
0.887	325 ± 22	58.4	187,000	1,327 ± 65	444,000	12	40
0.922	324 ± 23	57.6	(199,000)	1,319 ± 71	440,000	38	42

○各欄の()はデータが不揃いの場合の参考値